

楽しながら体力向上を目指して 「巧緻性」を高めるために

体力テストの現状と課題

上体起こしとハンドボール投げの項目で市平均を下回っている学年が多く、筋持久力・巧緻性が弱いことが分かる。その中でも、特に、巧緻性が課題と考える。筋力・スピードに関しては、全体的に市平均を上回っているため、維持・更なる向上をしていきたい。

実施内容

(1) 実践1 「教科体育」

(1) コーディネーショントレーニング

基本的なアップ運動に加え、頭を使った動きを取り入れ、筋力や瞬発力、巧緻性を向上させる運動に取り組んでいる。

(2) 自由活動

自主的に身体を動かす時間を作り、より多くの運動量を確保するよう取り組んでいる。



【ブリッジ歩行】



【後出しで足ジャンケン】

(2) 実践2 「教科外体育」



【猿投山美化登山の様子】

(1) 全校で行う猿投山美化登山

猿投山への登山道での美化活動を行っている。各学年で清掃箇所を分担し、川の水を汲んでガードレールを磨いたり、スコップを使って車道の泥を除去したり、2時間程度の清掃活動を行っている。自然と触れ合いながら、地域の清掃活動を実施している。

(2) 2年生自然教室スキー実習

2年生は2泊3日の自然教室でスキー実習を実施し、野外スポーツに親しむようにしている。

成果と来年度に向けて

運動が苦手な生徒も、楽しながら体を動かすことで、保健体育の教科だけでなく、学校行事へも意欲的に取り組む姿が見られた。

楽しさや喜びを感じさせながら、体力や運動能力を鍛えることをねらい、基礎的なコーディネーショントレーニングを実施していくことで巧緻性だけでなく、運動能力の向上をめざしていきたい。